

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

| | | | |
|------|---|--------|-------------------|
| 施設名称 | 川崎市体育館 | 評価対象年度 | 平成22年度 |
| 事業者名 | スポーツ施設管理運営体協グループ <構成団体> ・財団法人川崎市体育協会 ・JFEアーバンプラス株式会社 ・株式会社横浜アーチスト | 評価者 | 地域振興課長 |
| 指定期間 | 平成18年4月1日～平成23年3月31日 | 所管課 | 川崎市役所区民協働推進部地域振興課 |

2. 事業実績

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|--|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|---------|
| 利用実績 (単位:人) | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 12,888 | 13,211 | 13,944 | 13,544 | 11,328 | 14,744 | 17,801 | 14,237 | 10,946 | 13,425 | 13,165 | 7,318 | 156,551 |
| 収支実績 (単位:千円) | 収入 | 指定管理委託費 | | 71,379 | | | | | | | | | |
| | | 利用料金収入 | | 21,572 | | | | | | | | | |
| | | 事業収入他 | | 6,180 | | | | | | | | | |
| | | 収入計 | | 99,131 | | | | | | | | | |
| | 支出 | 管理運営費 | | 94,002 | | | | | | | | | |
| | | 事業費 | | 4,479 | | | | | | | | | |
| 支出計 | | 98,481 | | | | | | | | | | | |
| 収支差額 | | 650 | | | | | | | | | | | |
| サービス向上の取組 | <p>利用者の要望に柔軟に対応し、利用時間の延長について可能な限り受け入れている。利用者の増加と体育館利用の定着を図る割引サービスとして回数券(11枚セット:10枚分の料金)の設定を行っている。共有スペースに掲示板を設置し、スポーツ情報や利用者等による情報の発信に活用し多くの団体に利用されている。施設空き情報の表示や利用団体の誘致、保育付き教室事業の実施や幼児の遊び場としてプレイルームの開放、スポーツ利用のための会議室提供等により利用促進を図っている。</p> <p>個人開放事業・教室等事業について、アンケート調査等を行い、利用者の要望を可能な限りプログラム計画に取り入れるよう努めている。</p> <p>人気の高い教室については、ニーズに合わせて開催回数を増やしている。夏休みに加えて春休みにも少年スポーツ教室を実施し、多くの小学生の参加を得ている。スポーツデー(個人解放日)に関しても、参加者の多い種目は、用具を増やしたり、公平に利用してもらうために交代を促したりして多くの人が利用できるようにしている。</p> <p>健康スポーツ専門家による健康・体力相談窓口の設置や運動療法士による健康体力改善トレーニング相談を実施している。</p> <p>広報誌「体育館だより」の毎月発行、インターネットホームページ、マスコミへの情報提供等により、事業内容や体育館情報の広報活動を積極的に行っている。</p> | | | | | | | | | | | | |

3. 評価

| 分類 | 項目 | 着眼点 | 配点 | 評価段階 | 評価点 |
|-----------|--|---|----|------|-----|
| 総合的な運営状況 | 基本方針 | 公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 事業成果 | 事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | (評価の理由) | 事業計画に基づいた施設の運営がなされている。 基本方針に沿って実務を行い、市民サービスの向上に努めている。 自己評価・今後の展開・改善案等の検証・検討を行い、利用者のニーズを把握することに努め、事業に活かしている。 | | | |
| 管理業務の実施状況 | 維持管理 | 施設利用提供に支障をきたすことが無いよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 休館日・開館時間 | 安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 利用料金 | 公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 諸施設の活用と提供サービス | 効果的な諸施設の活用及び提供サービスの向上を図っているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 個人情報保護や情報公開 | 個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 利用促進 | 施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。 | 5 | 4 | 4 |
| | 人員配置 | 円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 人材育成 | 各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 危機管理 | 利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。 | 5 | 4 | 4 |
| (評価の理由) | 事業計画に基づいた管理業務の実施がなされている。 年間利用者数は東日本大震災の影響があり、昨年度より減少となったが、2月までの利用者数合計の比較では、3,257人の増加となっており、継続した利用促進の取組みが成果として現れている。 危機管理面で東日本大震災発生時の対応が的確になされ、その後の帰宅困難者受け入れや避難者の避難所開設にも積極的に協力した。 | | | | |

| | | | | | |
|--|----------------|--|---|---|---|
| 事業実施状況 | 施設利用提供業務 | 生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 個人開放事業 | 生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業が実施しているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 教室等事業 | 生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。 | 5 | 4 | 4 |
| | スポーツ情報提供及び相談業務 | 生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 指導者・ボランティアの育成 | 地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 自主事業に関する事項 | 利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 広報活動 | 施設利用促進及び生涯スポーツ振興を図るための広報活動が成されているか。 | 5 | 3 | 3 |
| (評価の理由) 事業計画に基づいた事業の実施がなされている。 教室等事業で参加者を増やす取組みが認められた。 | | | | | |
| 収支状況 | 安定性 | 収支計画に基づく安定した運営を行っているか | 5 | 3 | 3 |
| | 効率性 | サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。 | 5 | 3 | 3 |
| (評価の理由) 予算と決算の増減額があるが、適正に執行していると評価する。 | | | | | |

4. 総合評価

| | | | |
|-------|----|-------|---|
| 評価点合計 | 63 | 評価ランク | C |
|-------|----|-------|---|

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

| |
|---|
| <p>公の施設としての役割を理解し、市民の健康増進や生涯スポーツの普及促進に努めた。</p> <p>地域のスポーツ振興を担う施設として、各種スポーツ教室、スポーツ講習会、個人開放事業等を展開することにより市民が身近にスポーツができる機会を提供し、幅広い年代に利用されており、地域スポーツ活動の支援や意識啓発等に積極的に取り組んでいる。</p> <p>建設後55年が過ぎて老朽化による不具合が生じる恐れを常に抱えている施設で、点検を怠らず、計画的な修繕や更新を心がけて維持管理を行っており、利用者への安全性・利便性の配慮がうかがえる。</p> <p>東日本大震災では、突発・臨時の対応にも市と連携をとり、館の安全確認、休館に関する調整、市の震災関連対策への協力等、積極的な姿勢があり、安全を優先した業務方針によって、大きな混乱も起こることなく対応した。</p> |
|---|

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

| |
|--|
| <p>指定管理期間の最終年度ではあるが、平成22年度までの指定管理者を構成する3団体の内、2団体が平成23年度からの指定管理者の構成員となるので、これまで培ったノウハウや蓄えた地域情報等を、今後も十分に生かして事業展開を図ること。</p> <p>利用者の固定化、リピーター率の高さも見受けられるので、すぐに成果が出なくても、新たな利用者開拓も視野に入れた事業展開も望まれる。種目のバリエーションに配慮する等、これまで体育館を利用していなかった人も利用者になってもらえるような取組みを進めること。</p> <p>日常業務に関連する事務等についても定期的な職員研修を行ったり、外部研修の受講が施設のサービス向上につながったりするように、効果的な研修を行うこと。</p> <p>ボランティアについて、現在協力いただいている方以外にも、さらに養成のための検討・支援を行い、人材活用につなげ、地域のスポーツ振興や地域の活性化にもなるような事業展開を図ること。</p> |
|--|